

## 8. 当院における島津 Trinias 血管撮影装置の使用経験

日本海総合病院 放射線部 ○齋藤 成琉 齋藤 享平 後藤 嵩 川村 司

### 【概要】

当院では、令和 2 (2020) 年 10 月より心臓カテーテル装置更新に伴い、(株) 島津製作所 の Trinias B8 unity edition KS を導入し、導入してからの使用経験及び今後の展望について検討したので報告する。

### 【装置基本性能及び特徴】

- ・管球：バイプレーン C アーム管球
- ・FPD：検出部 8 インチ
- ・寝台：タッチパネル装備の多機能型テーブル

装置の立ち上がり時間が早く、立ち上げ 2 分以内で検査を開始することが可能なため、緊急時に素早く対応ができる。C アーム管球は、6 軸構造により複雑なポジショニングがスムーズに行うことができる。寝台のタッチパネルは、操作室内と検査室内両方に装備されており、透視保存や各種アプリケーションの切り替えをスムーズに行うことができる。

### 【アプリケーション】

- ・SCORE STENTVIEW：拍動で動く画像からリアルタイムでステントを固定表示させた画像の取得が可能となったことで、視認性が向上し、ステントの正確な留置をサポートします。当院では、ステントを留置する際とポストバルーンをかけ血管とステントを圧着させる際に主に使用しています。
- ・SCORE RSM：マスク画像不要の動きに強い DSA であり、通常の DSA と同等のエッジの強調した画像が得られ、かつ 1 パルスあたりの線量を抑えて撮影が可能であるため被ばく低減に効果的です。当院では、主に下肢の治療時撮影に使用しています。
- ・SCORE Chace：下肢治療に特化したアプリケーションであり、腰から足先までコマ撮りした画像を再構成しつなぎ合わせることで下肢の全体像を把握することが可能となりました。当院では、治療前と治療後に撮影することで全体像の評価をしています。
- ・FLEX-APS：DSA 撮影時の体動によるミスレジストレーションアーチファクトを抑制した画像の作成が可能となった。

### 【まとめ】

当院で使用している島津製作所の心臓カテーテル装置の特徴・使用経験について説明した。今後は、他社製品の心臓カテーテル装置との線量比較について検討していきたい。